

事 項	サイレージ用トウモロコシの奨励品種「スノーデント110（系統名LG3520）」の特性		
ね ら い	本県に適するサイレージ用トウモロコシの品種を選定するため、流通品種の生育特性及び収量性を検討した結果、「スノーデント110（系統名LG3520）」が既存の奨励品種に比較して収量性及び耐病性に優れることが認められたので、これを奨励品種として普及に移す。		
普 及 す る 内 容	<p>1 来 歴 フランスで育成されたデント種×デント種の単交配品種。平成17年から雪印種苗株式会社が販売している。</p> <p>2 主な特性（標準品種「36B08」対比）</p> <p>(1) 発芽の良否及び初期生育は同程度で良好である。</p> <p>(2) 絹糸抽出期は2日程度遅く、収穫期は4日程度遅い早生品種に属する。</p> <p>(3) すず紋病に対しては同程度の罹病性を示す。紋枯病の発生は少ない。</p> <p>(4) 稈長は長く、着雌穂高も高い。長稈でなびき型の倒伏が多いが、稈は細いながらも強く、折損は同程度に少ない。</p> <p>(5) 収量は3か年の平均で115%の多収を示す。</p>		
期待される効果	サイレージ用トウモロコシの安定生産に資する。		
普及上の注意事項	早生品種としては長稈で年次によってはなびき型の倒伏がみられるので、栽植密度は7,000本/10a程度とし、密植は避ける。		
担 当 部 署 (担当者名)	青森県農林総合研究センター畜産試験場 酪農飼料環境部 (芦田倫子)	対 象 地 域	県下全域
発表文献等	平成20年度東北農業試験成績・計画概要集		

【根拠となった主要な試験結果】

表1 「スノーデント110」の生育特性及び収量

(平成18年～20年 青森農林総研畜試)

品種名 (系統名)	年度	発芽の 良否	初期生 育	絹糸 抽出期 (月/日)	収 穫期 (月/日)	生 育日 数 (日)	刈取時の形質			倒 伏 (%)	折 損 (%)	病害		乾物収量		雌 穂 割 合 (%)
							稈長 (cm)	着雌 穂高 (cm)	稈径 (cm)			す す 紋病 (1-9)	紋 枯病 (%)	(kg/10a)	標 準 比	
スノーデント110 (LG3520)	18	9	7	8/6	9/29	144	288	125	1.6	0.0	0.0	2.3	11.1	2,152	119	56
	19	9	8	8/5	9/25	139	278	119	1.7	1.1	1.1	7.3	12.2	1,925	108	57
	20	9	6	8/9	10/3	147	273	123	1.6	17.8	0.0	1.3	0.0	1,767	118	50
	平均	9	7	8/7	9/29	143	280	122	1.6	6.3	0.4	3.6	7.8	1,948	115	55
パイオニア106日 (36B08) 標準品種	18	9	8	8/3	9/22	137	214	96	1.7	0.0	0.0	3.0	18.9	1,806	100	53
	19	9	7	8/2	9/21	135	202	94	1.7	1.1	0.0	5.3	33.3	1,779	100	59
	20	9	5	8/9	10/1	145	223	92	1.6	0.0	0.0	1.0	2.8	1,494	100	51
	平均	9	7	8/5	9/25	139	213	94	1.7	0.4	0.0	3.1	18.3	1,693	100	54

- (注) 1 発芽の良否及び初期生育は9 (極良) ~ 1 (極不良) とする評点法による。
 2 すす紋病は被害程度に応じて1 (無) ~ 9 (甚) とする評点法による。
 3 標準品種：作付けされている主力の奨励品種。

耕種条件

項 目	内 容
試験圃場	H19年まで同一圃場に作付け (連作11年)、H20年は新規圃場に作付け
播種期	平成18年5月8日、平成19年5月9日、平成20年5月9日
栽植密度	7,017本/10a (うね間75cm、株間19cm)
施肥量	H18、H19年：N-P ₂ O ₅ -K ₂ O=10-10-0kg/10a、牛ふん堆肥4,000kg/10a H20年：N-P ₂ O ₅ -K ₂ O=15-15-10kg/10a、牛ふん堆肥4,000kg/10a、 ようりん (20%) 200kg/10a
除草法	播種後、除草剤による土壌処理及び茎葉処理